

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 倉敷市の北西部に位置し、丘陵と比較的広い平野部が広がっている地域。
- 平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた地区であるが、復興とともに企業による営農も始まった。

【支援内容・背景】

- 担い手の高齢化により、新たな担い手の確保・育成が急務となっている。
- 助成対象者は、倉敷青果株式会社と契約取引を行っており、岡山県内の遊休農地・水田を有効に活用して、加工・業務用露地野菜に特化した栽培を行う地域の担い手として、また、契約取引の実践モデル農場として支援。



助成対象者「クラカアグリ株式会社」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成28年 農地所有適格法人クラカアグリ株式会社設立。
- 平成30年 経営改善計画の認定
- 岡山県内の遊休農地・水田を利用し、ネギ、キャベツ、スイートコーン等の加工・業務用露地野菜の生産を行っている。
- 農地はいずれも岡山県農地中間管理機構を通じ、高齢化や担い手不足で作付けできなくなった農家から水田を賃借している。

《事業活用の背景》

○ 消費者ニーズの変化により、カット野菜の需要は益々増加傾向にあり、さらなる生産規模拡大に向けて、作業の機械化、省力化、効率化、生産コストの低減が課題となっており、スマート農業の導入が急務。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○売上高 65百万円
○経営面積 14.4ha

《事業による整備内容》

- トラクター(直進アシスト) 1台
事業費 5,200千円
(国費 2,363千円)
- ドローン 1台
事業費 2,999千円
(国費 1,363千円)
- 青ネギ定植機 1台
事業費 1,200千円
(国費 545千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○売上高 108百万円(166%)
○経営面積 22.3ha(154%)

事業の
効果

《対象者》 機械化により作業時間の短縮と人員コストの低減が図られ、生産規模、売上高の拡大が実現。
《地区》 スマート農業を取り入れたモデル農場として経営が行われており、農地中間管理機構を通じた規模拡大に伴い、遊休農地の解消も図られた。